

保護者の皆さまへ

子どもたちとよりよく向き合い

教育をさらに充実させるために

学校では、これまでも子どもたちと向き合い、充実した教育を行うために、限られた時間の中で懸命に取り組んできました。

しかし、時間の確保が難しく、子どものことに関する情報共有や教師の授業力向上に関する議論などがもっと必要ではないか、といった課題もみられました。

そこで、本市の小・中学校では、令和5年度から水曜日の午後を原則として研修や会議などの時間としました。この時間をそれぞれの学校で有効に活用することで、日々の放課後の時間にゆとりが生まれます。

このゆとりの時間を使って、わたしたちは子どもたちとよりよく向き合い、日々の教育をさらに充実させることに努めます。

具体的には、以下のような効果を期待しています。

子どもや保護者の皆さま、地域の皆さまと  
ゆっくり話をする時間が生まれます

放課後、学級担任は子どもたちに声をかけて、困っていることや悩んでいることなどについてゆっくり話を聞くことができます。

また、保護者や地域の皆さまとしっかり話し合い、子どもたちのよりよい成長に向けて、ビジョンを共有することができます。



授業の準備をじっくり行うことで  
日々の授業が充実します

放課後、教師は日々の授業の準備にじっくりと時間をかけて取り組むことができます。

子どもたちのために「わかる」「楽しい」授業を目指して、学習内容について勉強したり授業で使う教材を準備したりすることができます。



職員間の情報共有や議論を  
しっかり行う時間が生まれます

放課後、子どもに関する情報共有や教育の内容に関する議論をしっかりと行うことができます。

職員間でしっかりと情報共有、議論することで、全職員が目標を共有し、自分の役割を明確にした上で、子どもたちにかかわることができます。



研修などをとおして  
教師の指導技術が向上します

水曜日の研修や、ほかの曜日の放課後の時間を活用し、教師は教育理論を学び、指導技術を向上させることができます。

教育に関する最新の動向を学んだり、お互いの指導技術を学び合ったりするなど、より充実した教育の提供を目指します。



令和5年3月 大牟田市教育委員会